

愛知県 S・Uさん

特定非営利活動法人びーのびーの代表の奥山さんの「働いていようがいまいが、子どもが地域で育つのであれば、地域の中に誰もが過ごせる居場所があったらいいと事業を進めてきました」。この子育て支援の一言はとても印象に残りました。

私自身 20 数年前に仕事をしながら子育ての経験があり、「仕事を続ける上で、支援が足りない」と叫んでいましたが、それは専業主婦の方も支援のかたちが違って、支援がほしかったのですね。

現在、地域で高齢者の居場所づくりを進めておりますが、基本は「すべての人が対象」というあたりまえの原点が再確認できました。

今号より読者のページとして新たにスタートしました。こちらでは、みなさまの日頃からの考えや思いを紹介していきます。

また、投稿につきましては、挟み込みのアンケート用紙またはEメールをご利用ください。

みなさまからの投稿を心よりお待ちしております。

✉ ikiiki@wam.go.jp

茨城県 K・Hさん

46号の特集座談会で、貴機構の事業規模（基金総額約 2800 億円、年間助成額約 30 億円）を知ることができました。もっと関心を持てるよう組織体制や、職員紹介をいただくと親しみを持てるように思います。提案として、評価制度の委員を各地に配置できるよう、協力者を募集してみたいかがでしょう。

みんなの
「いきいきチャレンジ！」

奈良県 M・Fさん

「いきいきチャレンジ！」を拝読し、多くの活動を知り、実践活動を喜びを持って頑張るみなさんとの誌面での出会いが楽しみです。これからも充実した内容をお届け下さい。頑張るエネルギーの源です。

神奈川県 S・Tさん

行政主導で市民と一緒に立ち上げた事業で、その後市民に引き継がれてよりよい形で継続しているものは少ないように思います。行政が手を引いても成功している事例について知りたいので、紹介していただければと思います。

大阪府 M・Kさん

読み応えがありました、あまり知られていないのではないのでしょうか。

新潟県 T・Sさん

障がい者の自立生活を取りあげてほしい。

熊本県 M・Kさん

初めて読みました。「おいしいもの見つけた！」のコーナーに興味をおぼえました。発注してくださる企業、卸元が増えるといいですね。

岐阜県 A・Tさん

地方における高齢者の外出支援・社会参加支援を目的に福祉自動車の運行を考えているが、会員制にして人を乗せる場合、NPO 法人、任意団体の場合など法律問題、運営費についての注意点などお聞かせください。

鹿児島県 I・Yさん

WAM 基金の助成による鹿児島市の「あそびの城」がスムーズに運営でき、子どもたちが毎日楽しく、楽しんで遊んでいます。

神奈川県 F・Iさん

障害は千差万別、従って自分にピッタリ合った自助具があれば毎日が楽になります。今、杖を中心に細かな工夫をしています。——私達にできる精一杯です——

福島県 D・Sさん

全国各地ですばらしい活動をされているみなさんの事業内容など、本文に活動写真やイラストなどまじえて、とてもやさしく温かい印象で掲載されており、とても読みやすかったです。

徳島県 M・Tさん

福祉（高齢者からスタートして、身体的・精神的・医療（行政 HP の MSW）そして避けられない「死」を意識しはじめ 1 年間の尼僧の修業後、もとの福祉業界にもどって見たら、未熟で無垢？な 60 才の自分に会えました。

千葉県 M・Hさん

本来、考慮に入れるべき、18～20 才までの里子や児童養護施設の子らへ、自立するシステムを各県にやってほしいと思います。千葉県ははじめて認定してくれました。活動内容を全国に知ってほしいです。

愛知県 M・Kさん

現代社会のボランティア活動の問題点（有償ボランティアと無償ボランティアの違い、奉仕活動とボランティア活動の違いなど）を取り上げてほしい。

岐阜県 K・Yさん

これから NPO を…という方に幅広く読んでいただけるような工夫や情報発信の方法が必要かと思います（毎回いい内容ですので…）。

静岡県 H・Nさん

中味が濃いという感じですが。全部を読みこなすには大変。全体に小さな文字がギッシリつまりすぎています。息のぬけるところもほしい。